

ママと赤ちゃんを支えたい！



「赤ちゃんを抱っこし、孤独と不安で涙するママを減らしたい」という信念のもと活動を行っているNPO法人はっぴーはーと。活動の幅を少しでも広げるために、助成制度の利用やクラウドファンディングも実施しています。今回は代表理事の青木さんに発足の経緯や今後の目標を聞きました。



▼青木さんとスタッフさん



じていたこともあり、退職して令和3年11月にNPO法人を設立。より充実したサービスの提供と活動の持続的な発展を目指し、本格始動しました。

「はっぴーはーと」は

上越市内で産前産後の母親と乳児のサポート事業に取り組んでいるNPO法人はっぴーはーと。代表理事を務める青木貴子さんは産婦人科クリニックや県立病院で勤務経験のある開業助産師です。「子育てで孤立するお母さんを一人でも減らしたい。まずはお母さんが笑顔でいられるように」と思いを話します。

活動立ち上げの背景

きっかけは、青木さんが病院に勤務していた約10年前。転勤族が多い土地柄もあり、子育てで頼れる人がなく、心身ともに疲弊していく母親の姿に心を痛めていました。「寄り添ってあげたいけれど、できないもどかしさ」が募り、平成24年にベビーマッサージとママ友づくりのランチ会を開始。参加者の輪が広がり、専門的な資格を持つ仲間も増えていきました。



代表理事 青木 貴子さん



大きな転機は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行でした。医療現場の厳戒態勢、感染の恐怖で外出できない社会環境などから、妊産婦の不安と孤独感が深刻化。産後うつを発症する割合も流行前の2.5倍に高まっていました。「待たなしの危機感」を覚えた青木さんは個人の活動に限界を感じ

クラウドファンディング 初挑戦 目標達成を励みに

NPO法人化を機に、行政による支援の切れ間や、コロナ禍の不安に苦しむ母親を守りたいと、退職直後から生後5ヵ月までの赤ちゃん預かり事業を構想。活動資金や利用者負担の低減にあてるため、クラウドファンディングに挑戦しました。約1ヵ月間で、集まった支援金は全国各地の173人から目標を超

える154万円にのびりました。「上越市に必要な事業」「自分が子育てしているときにあればよかった」などの激励のメッセージも多く添えられていました。感謝の気持ちとともに、「存在を知ってもらえただけでなく、背中を押していただいた。挑戦してよかった」と励みになったと言います。

新たに「預かり事業」スタート

4月に開始した「赤ちゃんあずかり」は、好評の声とともに利用が進んでいます。



今後の目標

預けている間、赤ちゃんの写真が随時母親に送られてくるサービスもあり、おもちやで機嫌よく遊ぶ姿、落ち着いた寝顔など「家では見られない新しい発見がたくさんあった」と言います。産前産後の病院のサポートに区切りがついた後、日々の悩みを相談できる場として「病院にいるときのよう」に安心して利用できた。一度預けてみると、子どもを見る目が変わるはず。ぜひ1ヵ月健診後の行政の支援に加えてほしい」と期待する声もありました。

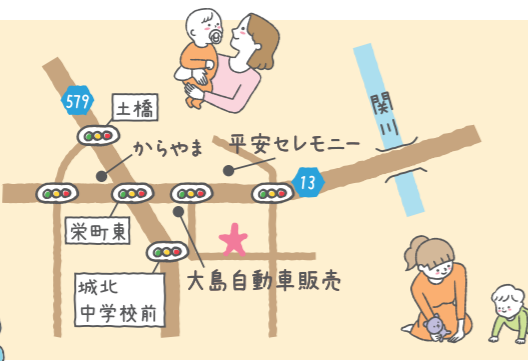


5月、足形アートなどの講座運営に対し、公益財団法人キリン福祉財団の助成を受けることができました。青木さんは「双方通行の指導ではなく、要望を踏まえて一緒に作り上げていく」と話し、「お母さん同士が友だちになって情報を交換し、自信

NPO法人はっぴーはーと

住 上越市高土町1-6-16 (空き家BASE内)
☎ 080-5758-8393
HP happyheart-joetsu.com

※イベントなどの詳細はホームページをチェックしてください。



を持って楽しく子育てできるように」と願っています。NPO法人立ち上げ、新事業開始など、活動は始まったばかり。「助産師ではあるけど、先輩ママという感じ。友だちの家に遊びに行く感覚で気軽に利用してほしい。有資格者が責任を持って赤ちゃんをお預かりするので、信頼し、安心して預けていただきたい。赤ちゃんとお母さん、そのご家族が笑顔でいられるように」と話します。

赤ちゃんあずかり

新生児乳児(生後1週間前後の退院直後～生後8週)を中心に生後5ヵ月までの赤ちゃんを預かります。
※沐浴対応可



ひめトレ教室

赤ちゃんとのふれあい遊びの後に、ママの不調(産後の尿漏れ、お腹のたるみ、冷え性など)に特化した骨盤底筋群を鍛えるトレーニングを行います。



リフレッシュDAY

プロのエステティシャンによる20分のマッサージコースです。家事や育児に疲れた心と体をゆっくり休めることができます。



手形足形アートの会

子どもの成長記録である手形や足形を、動物や植物などのモチーフに見立てて作品を作ります。初心者でも安心して参加できます。

